設立の趣旨

横断型基幹科学技術研究団体連合（略称：横幹連合、おうかんれんごう）は、文理にまたがる約40の学会が、自然科学とならぶ技術の基礎である「横断型基幹科学」の発展と振興をめざして大同団結したもので、限りなく縦に細分化しつつある科学技術の現実の姿に対して「横」の軸の重要性を訴え、それを強化するためのさまざまな活動を行うものです。

横断型基幹科学技術の定義

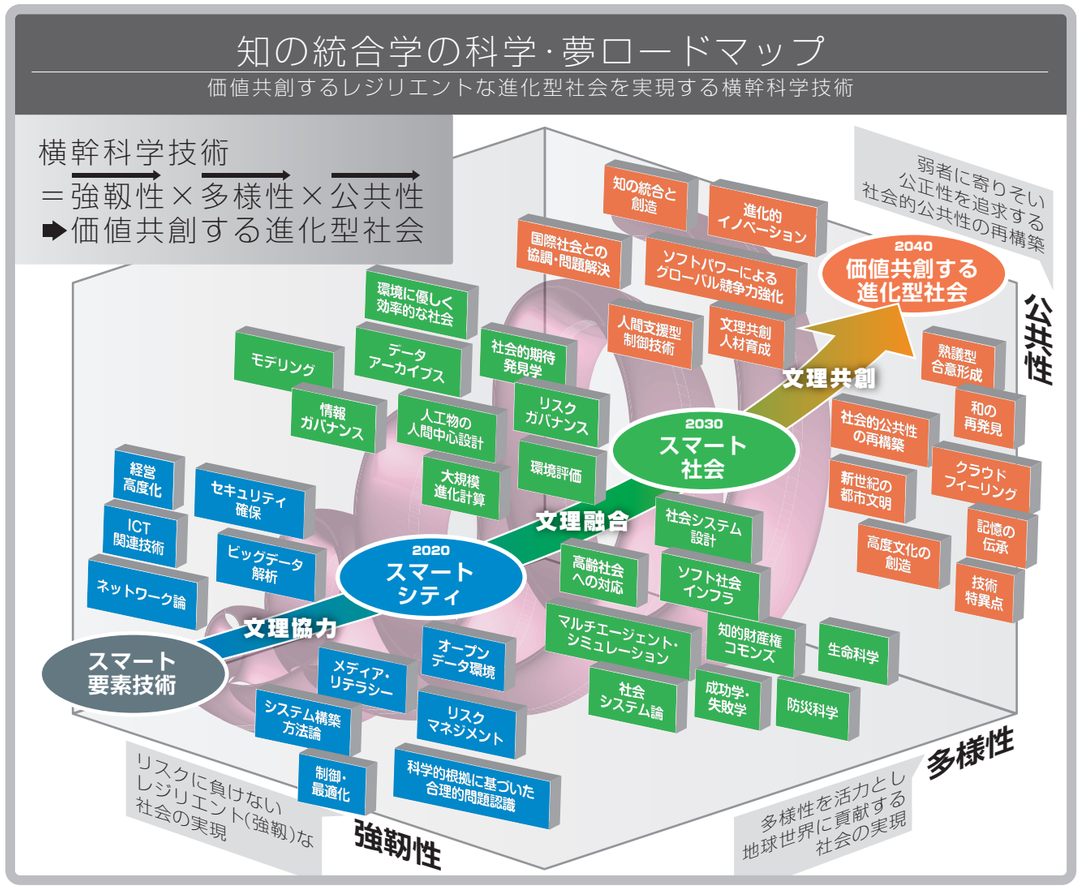
横断型基幹科学技術とは、論理を規範原理とし、自然科学、人文・社会科学、工学などを横断的に統合することを通して異分野の融合を促し、それにより新しい社会的価値の創出をもたらす基盤学術体系である。

[補足説明]たとえば、社会、人間、環境、生命、経営、組織マネジメントなどを扱うために生み出された、統計学、シミュレーション学、最適化手法、情報学、設計学などの学術体系である。

横幹連合「夢ロードマップ2014」

横幹連合は、日本学術会議報告『理学・工学分野における　科学・夢ロードマップ2014』の一部として、「知の統合学：価値共創するレジリエントな進化型社会を実現する横幹科学技術」を発表しました。

知の統合学は、モノではなくコトを対象とし、文理をつなぐ普遍的な方法論の確立を目指します。また、複雑な社会問題に対処し、レジリエントな未来を創造する総合的で革新的な研究を目指します。



横幹連合の取組み

横幹連合は、社会からもっとも求められている、人々や社会の視点からの科学技術の新たな結びつき（Convergence）を、会員学会の活動に重ねて作り上げることを目指します。このため、横断型基幹科学技術を追求すると同時に、産業界や国の科学技術政策部署への働きかけと、社会へのアウトリーチ活動を行います。

- ●横断型基幹科学技術の追求：横幹連合の年次大会である横幹連合コンファレンスの開催、会誌「横幹」への原著論文の掲載、研究の苗床としての調査研究会の設置や政府・企業からのプロジェクト受託研究を推進します。
- ●政策対話・提言：産官のトップと会員学会の会長との対話の場である横幹会議を開催すると同時に、時機に応じて、国の科学技術政策部署への政策提言を行います。
- ●アウトリーチ活動：会誌「横幹」の発行や産業界のニーズに応じた講演会である横幹技術フォーラムを開催します。また、Webのニュースレターによる横幹連合の活動の広報や、横断型基幹科学技術をわかりやすく伝える図書出版を行います。

会長メッセージ

会長

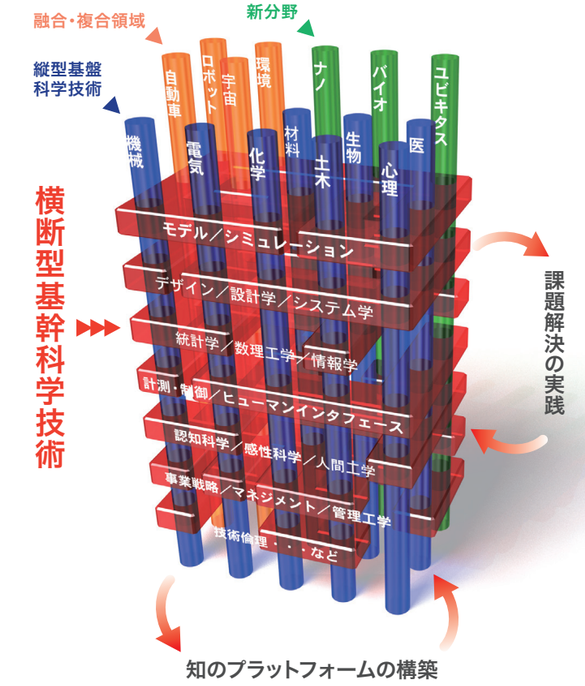
鈴木 久敏

Hisatoshi SUZUKI

（筑波大学 名誉教授）

横幹連合は、たとえばシステムのような、特定ドメインに限定されず様々なドメインに汎用的に適用可能な概念や技術に関心を持つ約40の学会が、文理の枠を超えて結集した組織です。15年間の活動の中から、「コトつくり」や「知の統合」など、今日の科学技術をリードする新しい理念・方向性を産み出してきました。横幹連合は、これからも社会的・経済的な価値づくりに関わる科学技術の開拓を推進します。横幹連合の活動への賛同と参加を期待します。

横幹連合の縦分野と横軸



活動紹介

■最近のプロジェクト活動（2011年以降）

- ・「横幹連合コトつくり至宝」認定事業
- ・第5期科学技術基本計画への取組み
- ・委託事業：第4次産業革命とシステム化研究会（2016-2017）
- ・オープンデータ調査研究会（2016－2017）
- ・横断型人材育成プログラム調査研究会（2015－2017）
- ・システム統合学調査研究会（2013－2015）
- ・リスクマネジメントと経営高度化調査研究会（2012－2014）
- ・震災復興に向けた学会連携活動（生活社会，経営高度化，環境エネルギー）の推進（2011－2012）

■政策提言、声明など（2007年以降）

- ・科学技術イノベーション総合戦略2017 への提言（2017.2.6）
- ・理事会声明「震災の克服と強靭な社会の再構築に向けて」（2011.5.2）
- ・第4期科学技術基本計画への提言（2009.11.30）
- ・京都宣言「コトつくりによるイノベーションの推進」（2007.11.29）

■産業界との連携

横幹科学技術に関心のある企業を会員とする横断型基幹科学技術推進協議会と連携して、横幹技術フォーラムの開催、課題解決型プロジェクト、産学懇談会を推進

■研究推進

- ・横幹連合コンファレンス、横幹会議の開催
- ・学会連携による課題解決活動/調査研究活動の推進

■横幹連合編〈知の統合〉シリーズ

- ・〈知の統合〉は何を解決するのか －モノとコトのダイナミズム
- ・カワイイ文化とテクノロジーの隠れた関係
- ・値創出をになう人材の育成―コトつくりとヒトつくり

（東京電機大学出版局より発刊）

■広報

- ・会誌「横幹」，WEB「ニュースレター」の刊行

■横幹連合ロゴマーク

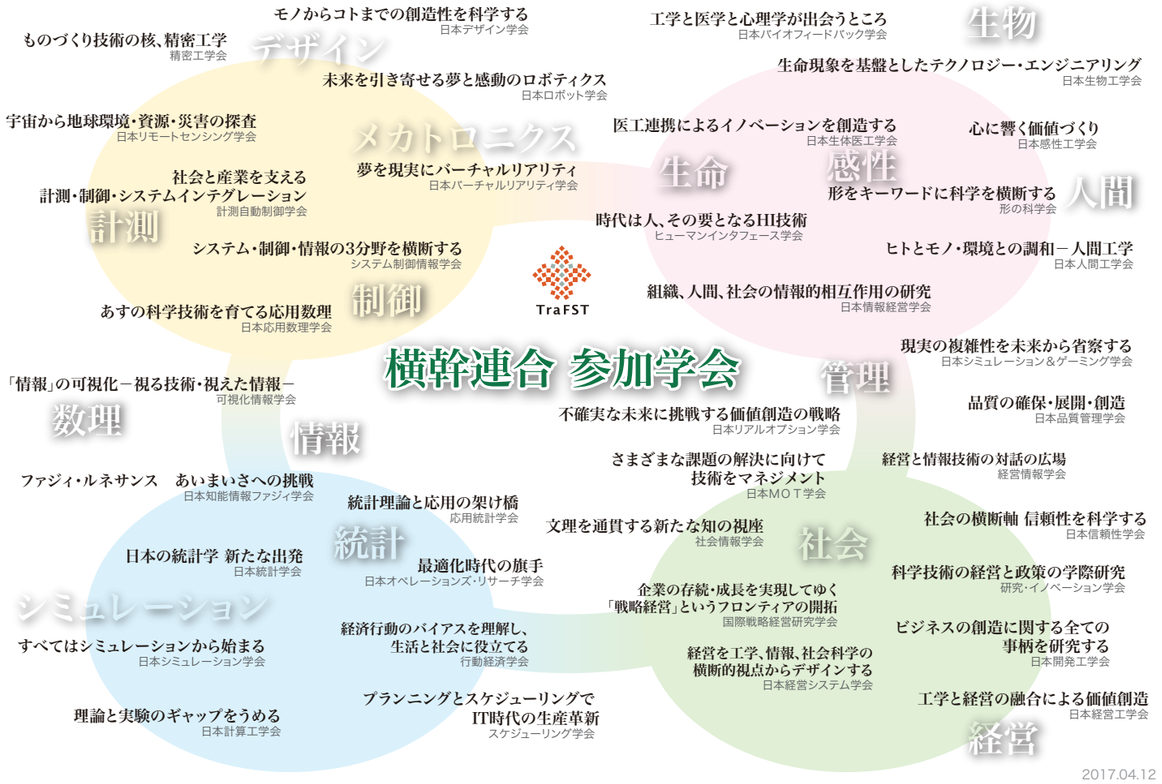
TraFST

特定非営利活動法人化に合わせてロゴマークをデザインした。様々な視点を持つ研究団体が集まることで新たな可能性を生み出そう、というコンセプトをメッセージとして視覚的に表現

■横幹連合キャラクター（2014年度総会にて決定）

産官学の連携と研究分野の横断的融合を、産官学を示す3人の王冠キャラクターで表現

会員学会



2017.04.12

沿革

2001年 4月	10学会の代表による「学会連合懇談会」を結成
2001年12月	12学会による提言「横断型科学技術の重要性について」を総合科学技術会議に提出
2002年 8月	平成14・15年度文部科学省科学技術振興調整費政策提言プログラム「横断型科学技術の役割とその推進」を中核研究母体として推進（2004年3月まで）
2003年 4月	任意団体「横断型基幹科学技術研究団体連合」発足
2005年10月	特定非営利活動法人「横断型基幹科学技術研究団体連合」設立（内閣府認証）
2006年 6月	日本学術会議協力学術研究団体登録
2007年 4月	会誌「横幹」の創刊
2013年10月	横幹連合10周年史をまとめる
2016年 1月	防災学術連携体に加盟
2016年 4月	会誌「横幹」を電子ジャーナルとしてオープンアクセス公開

横幹ニュースレター　会誌「横幹」　会員マップ

横幹連合加盟37学協会（2017年4月現在）

応用統計学会、可視化情報学会、形の科学会、経営情報学会、計測自動制御学会、研究・イノベーション学会、行動経済学会、国際戦略経営研究学会、システム制御情報学会、社会情報学会、スケジューリング学会、精密工学会、日本MOT学会、日本応用数理学会、日本オペレーションズ・リサーチ学会、日本開発工学会、日本感性工学会、日本経営工学会、日本経営システム学会、日本計算工学会、日本シミュレーション学会、日本シミュレーション&ゲーミング学会、日本情報経営学会、日本信頼性学会、日本生物工学会、 日本生体医工学会、日本知能情報ファジィ学会、日本デザイン学会、日本統計学会、日本人間工学会、日本バーチャルリアリティ学会、日本バイオフィードバック学会、日本品質管理学会、日本リアルオプション学会、日本リモートセンシング学会、日本ロボット学会、ヒューマンインタフェース学会（50音順）

事務局

特定非営利活動法人
横断型基幹科学技術研究団体連合 略称：横幹連合（おうかんれんごう）

所在地：〒101－0052
東京都千代田区神田小川町1－11－9 金子ビル4階

電話・FAX：03-6675-4076
E-mail：office@trafst.jp

ホームページ

http://www.trafst.jp/

（2017.5月版）

特定非営利活動法人
横断型基幹科学技術研究団体連合

モノつくりからコトつくりへ
要素からシステムへ

横断型基幹科学技術からの挑戦

NPO：OukanRengo
Transdisciplinary Federation of Science and Technology（TraFST）

横幹連合

http://www.trafst.jp/

Copyright © 2011-2017 TraFST. All Rights Reserved